



2015年3月 おかげさまで
創業40周年を迎えます



パンチ工業株式会社

証券コード：6165

2014.4.1~2014.9.30

2014 株主通信 [中間期]

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

株主の皆様へ

おかげさまで創業40周年を迎えます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

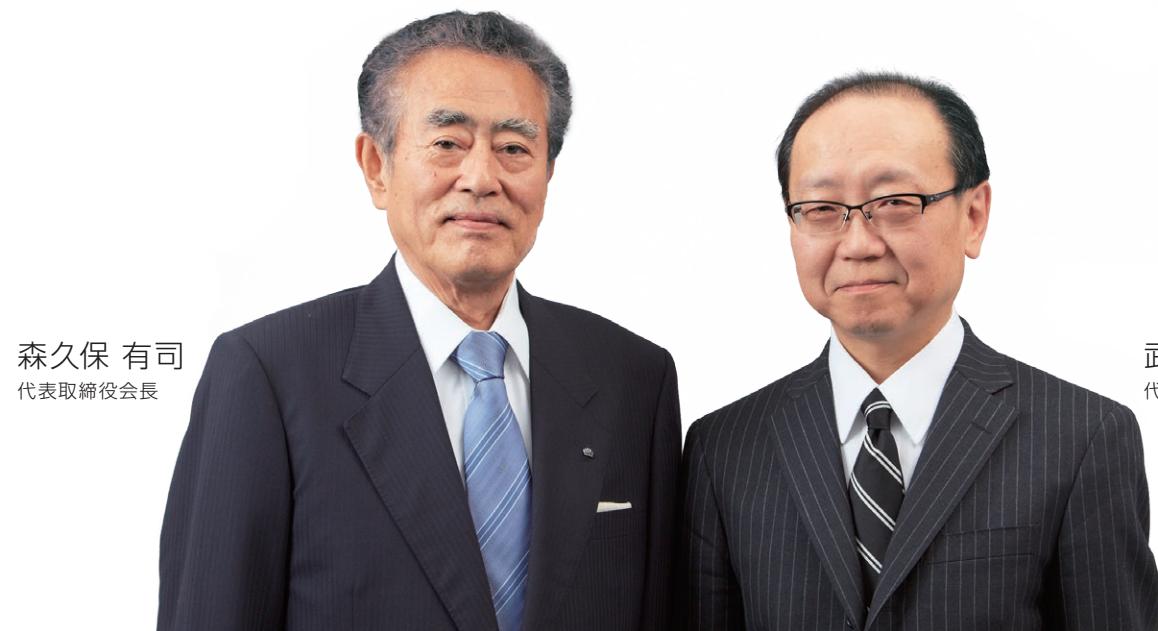
当社は、1975年に創業以来、「金型部品業界でのトップブランドを確立し、製販一体企業としての優位性を活かした高収益企業を目指す」という企業ビジョンを掲げ、一貫してものづくりにこだわり、材料調達から出荷までの一気通貫の生産体制を築き上げ、着実に歩んでまいりました。

2012年12月には東京証券取引所市場第二部に上場、2014年3月には同市場第一部指定を果たし、おかげさまで2014年12月に上場2周年、

2015年3月に創業40周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様のご支援とご厚情の賜物と心から感謝申し上げます。

現在、企業を取巻く世界経済、社会環境は、大変早いスピードで変化しておりますが、パンチグループは、次の高みに向かって、グループをあげて全力で取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



森久保 有司
代表取締役会長

武田 雅亮
代表取締役社長

事業報告

1 経営環境について

当中間期における世界経済は、米国では回復基調が持続、欧州は足踏み状態、中国は7%前後の安定成長と総じてややペースダウンしているものの、緩やかな成長が続きました。国内については、個人消費は低調ながら、輸出の増加や設備投資の拡大もあり、緩やかな回復基調となりました。

2 決算概況について

当中間期におきましては、国内は好調な電子部品・半導体に加え、自動車や家電・精密機器も堅調に推移しました。また、産業機械の復調もあり、前年同期を上回る売上を確保しました。中国でも好調な自動車に加え、電子部品・半導体や家電・精密機器などが堅調に推移し、戦略製品も二桁の増収となりました。さらに、東南アジアグループの新規連結による東南アジア、欧州への売上も拡大するなど、全般的に自動車、電子部品等、幅広い業種で増収となりました。

この結果、当中間期の売上高は国内75億16

百万円、海外88億34百万円、連結売上高163億50百万円(前年同期比20.4%増)となりました。売上拡大に加え、仕入れコストの低減、工場の稼働アップによる原価率低減、単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は9億50百万円(同126.7%増)、経常利益は8億51百万円(同158.2%増)、四半期純利益は6億44百万円(同285.6%増)となりました。

3 配当について

当社では、安定かつ継続的な配当に加え、連結業績との連動性を重視することを基本として、連結ベースで配当性向20%以上を目標としています。当中間期は、1株当たり10円(前年同期比2円50銭増)の配当を実施させていただきます。年間では20円を予定しております。

配当金の推移

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2014年3月期	7円50銭	12円50銭 (記念配当5円を含む)	20円
2015年3月期	10円	10円 (予想)	20円 (予想)

特集：パンチグループの歩み ～世界のパンチへ!～

パンチ工業は、1975年に創業して以来、金型用部品を製造販売するメーカーとして日本の、そして海外でのものづくりを支えてきました。

2015年3月、創業40周年を迎えるにあたり、これまでの歩みをご紹介します。



1975年

創業者森久保有司(現会長)が、東京都品川区において神庭商会を設立、プリント基板用穴あけピン製造



1977年

商号をパンチ工業株式会社に変更



- 現会長の森久保の実家を一部改造してつくった10坪ほどの工場で、わずか7、8名の従業員が日夜働き会社を支えました。

1982年

プラスチック金型用ハイス(高速度工具鋼)エジェクタピンの量産化に成功

- 1,000分の5ミリの寸法精度にも対応できるハイスエジェクタピンは、高い精度が要求される分野で大きな評価をいただきました。

1983年

岩手県北上市に北上工場を設置金型用部品の全国販売を開始



1989年

岩手県宮古市に宮古パンチ工業株式会社(現・宮古工場)を設立プレス金型用部品に進出



- プレス金型用部品分野に進出するために新たな工場が必要となり、「ものづくり」企業の誘致に積極的だった宮古市の協力も受け、宮古パンチ工業株式会社を設立しました。

1990年

中国遼寧省大連市に盤起工業(大連)有限公司を設立



- 設立当初、現地採用社員のほとんどが機械加工未経験者だったため、毎年20名以上を研修生として北上・宮古の両工場へ派遣しました。その結果、社員のものづくり力は着実に向上しました。

1995年

中国遼寧省大連瓦房店市に工場を設置

2001年

中国国内に販売拠点を設置

2002年

中国国内で金型用部品の販売を開始

- これを契機に、営業拠点を拡充。中国市場の拡大に伴って、販売ネットワークを強化していきました。

2003年

中国遼寧省大連瓦房店市の工場を分離独立し、盤起工業(瓦房店)有限公司を設立

中国江蘇省無錫市に盤起工業(無錫)有限公司を設立

2004年

中国広東省東莞市に盤起工業(東莞)有限公司を設立

2006年

- 株式会社ピンテックの全株式を譲り受け、グループ会社化
- 中国遼寧省大連市に大連盤起多摩弹簧有限公司を設立(現・盤起弹簧(大連)有限公司)

2010年

インド・タミールナド州チェンナイにPUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD. を設立

2011年

- 兵庫県加西市に兵庫工場を設置、操業を開始
- インド国内で金型用部品の販売を開始

2012年

- マレーシアPANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. と資本・業務提携
- 東京証券取引所市場第二部へ上場

2013年

- 中国重慶市に生産・物流拠点を設置
- PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. をグループ会社化(現・PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.)
- インドネシア・ジャカルタにPT. PUNCH INDUSTRY INDONESIAを設立

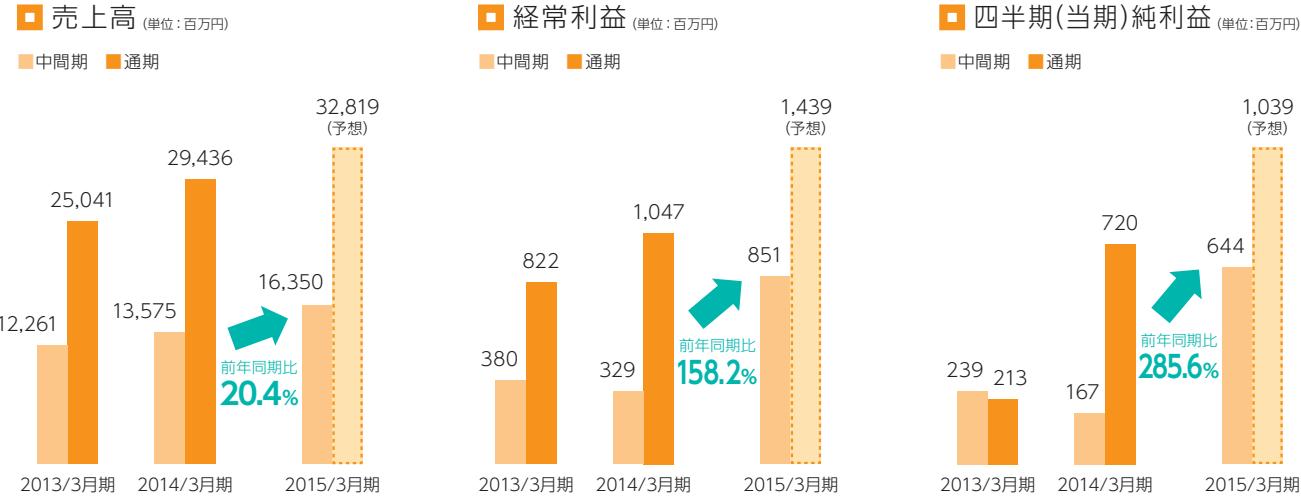
2014年

東京証券取引所市場第一部銘柄に指定



業績ハイライト

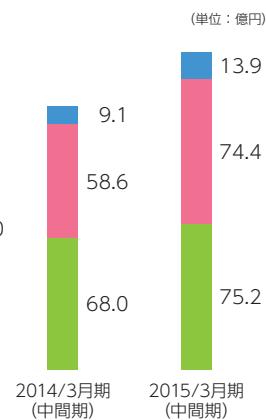
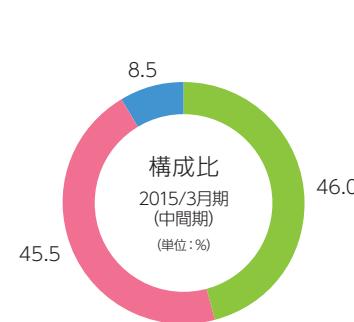
売上高及び各段階利益ともに前年同期をクリアし、引き続き堅調に推移



※前年同期比は2014/3月期の中間期と2015/3月期の中間期を比較しています。

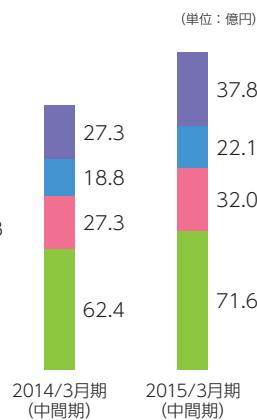
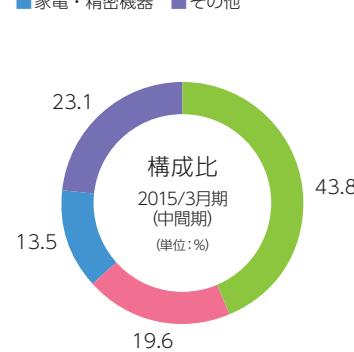
地域別売上高

■日本 ■中国 ■アジア他



業種別売上高

■自動車 ■電子部品・半導体 ■家電・精密機器 ■その他



中期経営計画の進捗報告

中期経営計画「バリュークリエーション15」の基本戦略

- ① グローバル化
- ② 新市場の開拓
- ③ 高収益事業モデルへの転換

① グローバル化

2013年11月に新設したグローバル事業本部に事業戦略機能とマーケティング機能を集約し、当社の強みである「お客様密着型営業」のローカルマネジメントをベースとした海外展開を進めています。2014年4月にはインドネシア合弁販売会社の営業をスタートさせたほか、ベトナムではホーチミンに加え、ハノイにも事務所を新設し、受注拡大に取り組んでいます。また、中国・マレーシアからの欧州向け輸出も伸びており、5月にはドイツで、9月にはイギリスで新たな代理店契約も締結しました。今後も、各地で最適な販売体制の構築を進めます。

② 新市場の開拓

国内では医療関連、食品・飲料関連といった高付加価値分野の開拓に注力しています。中国では2013年5月に稼働を開始した重慶工場を拠点に内陸部での販売強化を進めているほか、インドでは自動車をベースに、家電・電子部品等も含め受注活動の強化に取り組んでいます。

③ 高収益事業モデルへの転換

2014年4月に研究開発本部を設置し、日中の連携により、総合力を発揮する研究開発体制を整備して、グローバルな新市場開拓を加速する営業・製造一体の取組みを進めています。中国グループでは、高付加価値製品群の拡販やラインアップの拡充も進み、研究開発成果が収益に寄与し始めています。

2015年3月期 業績予想概況 (単位:百万円)

	2014/3月期 (実績)	2015/3月期	前年差	前年比
		修正予想		
	8/8公表			
売上高	29,436	32,819	3,382	11.5%増
営業利益	1,161	1,619	457	39.4%増
経常利益	1,047	1,439	391	37.4%増
当期純利益	720	1,039	318	44.2%増

連結財務諸表

■ 四半期連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前年同期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	13,575	16,350
営業利益	419	950
経常利益	329	851
四半期純利益	167	644

当第2四半期における当社グループは、グローバル化及び新市場・新分野への展開を積極的に進めるとともに、持続的な原価低減を推進することで、業績の確保に努めてまいりました。

この結果、国内売上高は75億16百万円、海外売上高は88億34百万円となり、連結売上高163億50百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

利益面につきましては、仕入れコストの低減及び工場の稼働アップによる原価率の低減に加えて、単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は9億50百万円(前年同期比126.7%増)となりました。経常利益は8億51百万円(前年同期比158.2%増)、四半期純利益は6億44百万円(前年同期比285.6%増)となりました。

■ 四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前期末 2014年3月31日現在	当第2四半期末 2014年9月30日現在
流動資産	14,668	15,448
固定資産	9,803	9,435
資産合計	24,471	24,883
流動負債	11,372	11,475
固定負債	3,736	3,862
負債合計	15,108	15,338
純資産合計	9,362	9,545
負債純資産合計	24,471	24,883

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前年同期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	557	1,294
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,221	△481
財務活動による キャッシュ・フロー	231	△364
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,439	1,886

当第2四半期末における総資産は248億83百万円となり、前期末と比較し4億12百万円の増加となりました。これは、主として現金及び預金の増加によるものです。

純資産は95億45百万円となり、前期末と比較し1億82百万円の増加となりました。これは、主として四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加等による収入が支出を上回ったため、12億94百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や短期貸付金の増加等により4億81百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少等による支出が長期借入れによる収入を上回ったことにより、3億64百万円の支出となりました。

パンチグループのCSR

世界のものづくりを支える企業であり続けるためにCSR経営を実行しています。

株主・投資家の皆様

- 株主総会
- 個人投資家様向け説明会
- アナリスト・機関投資家様向け決算説明会
- HPやIRツールでの情報発信

当社は、さまざまな会社説明会やIRイベントに参加しています。
 8/29～8/30 日経IRフェア2014 STOCK WORLDに出展
 9/18 個人投資家様向け合同IR説明会@大阪
 9/21 個人投資家様向け合同IR説明会@名古屋
 11/28 個人投資家様向け合同IR説明会@札幌
 12/7 IRフォーラム2014winterに出展
 当社をより一層ご理解いただけるように、今後もIR活動を積極的に行っていく予定です。

取引先の皆様

- 品質向上の取組み
- 展示会等への参加

地球環境

- グリーン調達
- 清掃・美化活動
- 「環境にやさしい商品」づくり
- CO₂排出量・産業廃棄物の削減

当社は、「環境化学物質の管理」「資源の有効活用」など地球との共生を図ることで、地球環境をよりよい方向へ変えていけると考えています。私たちは、「パンチ工業環境理念」に基づき、使用環境化学物質をより環境リスクの少ない物質へ代替化する「グリーン商品」への取組みを積極的に推進しています。



地域社会

- 学生対象の工場見学会
- ボランティア活動に参加
- 2016年いわて国体に協賛
- エコキャップ運動
- 植樹活動
- 宮古工場敷地の一部を東日本大震災に伴う仮設住宅用に提供

当社は、「2016希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」にオフィシャルサポーターとして協賛し、国内2工場がある岩手県で行われる国体を応援していきます。



「世界のパンチ」を目指す当社にとって、日本国内はもとより、海外においても企業としての使命を積極的に果たしていきたいと考え、さまざまなCSR活動に取り組んでいます。中国グループにおいては、地域に根ざした貢献活動を幅広く展開しています。毎年春頃になると、大連市林業局主催の植樹活動に従業員やその家族の方々が一緒に参加しています。



従業員

- 社内報等による情報発信
- 従業員代表意見交換会

会社概要・株式の状況 (2014年9月30日現在)

会社概要

商号 パンチ工業株式会社
 創業 1975年(昭和50年)
 資本金 15億7,154万円
 従業員数 連結 3,757名
 本社所在地 東京都港区港南二丁目12番23号 明産高浜ビル8F
 事業内容 金型用部品の製造・販売
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行

役員

代表取締役会長 森久保 有司
 代表取締役社長 武田 雅亮
 専務取締役 杉田 進
 取締役 真田 保弘
 取締役 村田 隆夫
 取締役 八木 裕之
 取締役(社外) 横山 茂
 常勤監査役 木對 紀夫
 監査役 佐々木 信也
 監査役(社外) 安藤 良一
 監査役(社外) 松江 頼篤

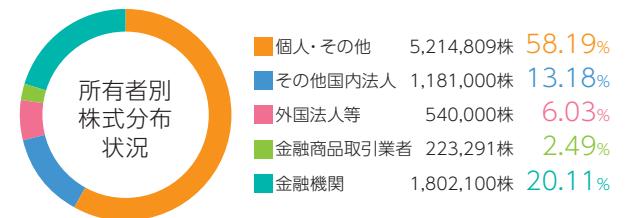
株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 8,961,200株
 株主数 2,291名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 株	持株比率 %
エム・ティ興産株式会社	1,090,000	12.16
森久保 有司	972,000	10.84
森久保 哲司	650,000	7.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	628,300	7.01
パンチ工業従業員持株会	606,600	6.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	334,300	3.73
神庭 道子	298,000	3.32
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS	255,000	2.84
野村信託銀行株式会社(投信口)	249,200	2.78
森久保 博久	128,000	1.42

※持株比率は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しています。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告により行います。
	公告掲載URL http://www.punch.co.jp/companyinfo/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載します)

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目 4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
単元株式数	100株

IRメールマガジン配信のお知らせ

当社では、決算情報やプレスリリース、IR関連情報などをメールでお届けしています。

下記、QRコードもしくはURLよりご登録ください。



<https://fofa.jp/punch/a.p/102/>



パンチ工業株式会社

本社：〒108-0075
東京都港区港南二丁目12番23号
明産高浜ビル8F

TEL.03-3474-8007(代表) FAX.03-3471-8100



見やすくまちがえにくい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用して
います。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C005531